

## 会議録

会議の名称	令和6年度 第2回社会教育委員の会会議
開催日時	令和6年11月21日(木) 16:00~17:15
開催場所	イイヅカコミュニティセンター 2階 展示ホール
出席委員	檜原 理香、後藤 直巳、井上 節子、小田原 嘉朋、中野 靖彦
欠席委員	伊東 計太郎、江藤 ふじ子、竹川 克幸、松尾 知世、中山 道代
事務局職員	文化課長、生涯学習課長補佐兼中央公民館長、文化財保護推進室長、生涯学習係長、生涯学習ひろば整備担当主査、穂波交流センター長、筑穂交流センター長、庄内交流センター長、颯田センター長、事務局担当
会議内容	<p>1 開会 16:00</p> <p>2 委嘱交付及び委員紹介 委嘱状交付は、時間短縮の観点から省略。</p> <p style="text-align: center;">社会教育委員による自己紹介</p> <p>3 教育委員会あいさつ(生涯学習課長補佐兼中央公民館長) 本日は大変お忙しい中にも関わらず、令和6年度第2回飯塚社会教育委員の会会議に参加いただき誠にありがとうございます。</p> <p>本来でありましたら教育部長のほうが御挨拶を申し上げるところではございますが、緊急の公務が入りましたので、代理といたしまして私のほうより御挨拶いたします。申し訳ございません。</p> <p>皆様には、日頃より、社会教育活動ならびに学校教育活動の発展等、格段のご理解、ご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。</p> <p>子どもから大人まで、様々な世代の市民が「いつでも どこでもだれでも」自由に学べる環境づくりに努め、住民のニーズに沿ったよりよい社会教育事業を振興していくためには、皆様のような社会教育委員の方々をはじめ、地域でご活躍されている方々の、知識と経験に基づいた助言指導に期待するところが大変多くございます。</p> <p>さて、本日は2回目の社会教育委員の会 会議となりますが、前回、7月に、第1回目の会議を開催し、それから本日まで約4ヶ月の間、様々な研修会等にご出席いただいたことをお聞きしております。</p> <p>仕事等の都合により参加できなかった方々もおられると思いますが、皆様の積極的な参加とご協力に心より感謝いたします。</p> <p>本日は、所管課から事務事業の進捗状況や生涯学習体系について報告がありますが、社会教育委員の皆様におかれましては、社会教育行政に行政外の立場から幅広い意見や助言をいただき、今後の飯塚市に</p>

会議内容

おける教育の充実・活性化に積極的に取り組んでいただきたいと思いますので、忌憚ない率直なご意見をお聞かせいただきますよう、お願い申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。  
どうぞよろしくお願いいたします。

事務局職員による自己紹介

4 委員長・副委員長選出

社会教育委員の会運営規則第2条のとおり、委員長・副委員長の立候補を伺う。小田原嘉朋委員が委員長に立候補、檜原理香委員が副委員長に立候補され、他の立候補者がいなかったため以下の通り決定

委員長・・・小田原 嘉朋委員

副委員長・・・檜原 理香委員

5 案件

1 議案事項

(1) 議案第2号 令和6年度社会教育団体の登録について配布資料に基づき事務局より説明

2 報告事項

(1) 報告第5号 令和6年度 生涯学習課・文化課事業進捗状況について配布資料に基づき事務局より説明

【質疑】

(委員)

嘉穂劇場についてです。前回も同様の質問をさせていただきましたが、嘉穂劇場を使用することのできるようになる目途は立っていないということでしょうか。

(文化課長)

嘉穂劇場の整備につきましては、年度内のうちに市民の皆様はどういった方向性、スケジュールで行っていくかについてお知らせできればとは考えているところではございます。

(委員)

ありがとうございます。

(2) 報告第6号 令和6年度生涯学習体系について配布資料に基づき事務局より説明

(3) 報告第7号 飯塚市教育委員会事業評価結果、令和5年度分  
について配布資料に基づき事務局より説明

【質疑】

(委員)

デジタルミュージアムについてです。この資料を頂いてからその場でサイトにアクセスしまして隅から隅まで拝見させていただきました。ストーリーに沿って説明されており、すごく分かりやすかったですし、3Dパノラマで伊藤伝右衛門邸や嘉穂劇場などが見れたため臨場感がありすごくよかったです。ただ、パソコンでは問題ないのですが、スマホだとデジタルミュージアムのトップ画面に戻れないんですよ。なので、スマホでもデジタルミュージアムのトップに戻ることができるようにしていただきたいです。戻ろうとすると画面が全部閉じてしまうので。

また、子どもが対象になっている方も全て見ました。子どもが分かりやすいようにしてあったのですが、文字が少し多いかなと思いました。今どき子どもも文字をあまり読まないの。例えば漫画みたいにもっと分かりやすくしてほしいと思います。

また、資料中の先生方の講評にも出てましたけれども、サイトの入り口どこにあるのかちょっと分かりづらいですね。

私、歴史資料館のHPも見ますが、先生がこの中で書いてあるように、飯塚市のトップページのどこかにデジタルミュージアムに入ることのできるリンクでもあったら、そこから入る人が増えてアクセス数もより伸びるんじゃないかと思います。

私が30年前に初めて飯塚市に引っ越してきた頃はあまりネット社会ではなかったのですが、市のことについて調べる際は市のホームページで探していました。

(文化財保護推進室長)

御意見ありがとうございます。

小学生への説明につきましては、何年生を対象にするかがちょっと難しいところがありましてふりがなをつけるべきかなどまだ考えるべき点がありなかなかうまくいってない状況でございます。

それからトップ画面に戻ることのできるようにしてほしいという意見に関しましてはまた検討させていただきたいと思います。

また、入り口に関しましても現在歴史資料館のホームページからしか行けない状態になっていますので、市のホームページからも入ることが出来るようにするなどを少し難しいところはありますが、検討させていただこうと思います。

会議内容

会議内容

(委員)

例えば飯塚市のホームページの下のほうにある広告バナーの一つに貼り付けていただだけでもいいのではないかと思います。

(文化財保護推進室長)

わかりました。ご意見ありがとうございます。

(委員)

近年、熟年者マナビ塾が衰退しているため、行政の方でも何か策をうっていただきたいです。

(生涯学習課長補佐兼中央公民館長)

御意見ありがとうございます。

熟年者マナビ塾については、確かにどこの小学校も会員の方が減っていているというのが現状です。また、会員の方も高齢化が進んでいて体の調子が悪いとかで、参加されない方ですとか、新規の会員の方についても交流センターだよりですとか、様々な手法で募集はかけてはいるんですけどもやはりなかなか増えないというのが現状です。今まで以上に広報活動に力を入れて、会員の方を募集していきたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(委員)

学習支援ボランティアさんが全体で472名というのはすごく多いと感じました。1つ1つの小学校ではちょっと少なくなってるかもしれませんが。

高齢者の方で今時は老後資金が不安で働いてる方も少し増えてるんですね。私の職場でも、70代で働いてらっしゃる方がいっぱいいます。そうすると、熟年者マナビ塾は平日の昼間にされているので、働いてる方は少し行きづらいなと思います。ボランティアをやりたい気持ちは私もあるのですが平日は仕事があり参加できません。なので、土曜日などで熟年者マナビ塾をされるとかというのはできないのですかね。

また、熟年者マナビ塾に入るのは何歳以上など基準はあるのですか。

(生涯学習係長)

基本は60才以上ですが。過去には、50代の方が入られていたこともあります。

会議内容

(委員)

講評者お二方とも学校から地域へ出て行って町ぐるみで何かしたらどうですかみたいところが書いてありました。

だから、学校だけじゃなくて交流センターも新しくなったからそこを使ってとかですね。

他の少年の船なんかも参加していた子どもが大きくなって、大学生になりスタッフとして戻ってきて一緒に手伝ってくれてるのが書いてありました。そういうふうに小学校卒業した中高生でも参加できるようにする。なかなか学校に行きづらい子でも地域活動には出てくるんですよ。子ども会でもそうです。不登校だけど、すごい真面目で、子ども会の活動に欠かさずスタッフとして来てくれてるとか、中高等学校卒業してから働いてからも来てくれてる子もいるんですね。

そういう人たちもですね、一緒に巻き込めたら、もっと広がりも出るんじゃないかなあと思います。

(委員)

プライベートで遺跡めぐりをしにいろんなところに行っているのですが飯塚市内の遺跡は行こうと思ってもなかなか道がなかったり、草ぼうぼうだったりしていてなかなか行けません。たとえば、立岩遺跡もすごく貴重な遺跡なので、何回も行ったことがあるのですが、丁寧に説明をしてある案内板等があればいいんですけどないので、どういった歴史があるのか他の方にも分かってもらいたいのにわかってもらえません。

(文化財保護推進室長)

道の草の関係とかですね、大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。今予算的にはなかなか厳しいところがございまして、業者のほうに頼んだり、職員でも草刈りをいたしているのですが、すぐ草が生えてくるものでご迷惑をおかけしております。

看板の関係でございまして、看板につきましてもですね、順次、新しいものなどに変えてはいるのですが、一斉に変えるというのは難しいところがございまして。毎年必ずどこかを新しくはいたしておりますのでよろしく願いいたします。市の単独になりますと、予算的に厳しい状況がありまして、少しずつしか進めることができないという状況になっております。

(委員)

古墳や遺跡についての説明も先ほどお話に上がったデジタルミュージアムの中にですね、飯塚市内中の遺跡がこんなにあるよということなど全部書いてありますので皆さんぜひお試してください。

	<p>(文化財保護推進室長) 遺跡の見学の際にも使用していただくと本物と映像を比較していただいたりできると思いますのでよろしくお願いたします。</p> <p>(委員) 市の SNS で広報されたらより利用が増えると思いますので、広報の面も頑張られてください。</p> <p>6 その他 事務局の方より社会教育委員の会筑豊ブロック研修会について説明。</p> <p>7 閉式 17:30</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 令和 6 年度社会教育団体の登録について</li> <li>・ 令和 6 年度生涯学習課・文化課事業進捗状況</li> <li>・ 令和 6 年度生涯学習体系</li> <li>・ 飯塚市教育委員会事業評価結果 (令和 5 年度分)</li> <li>・ 社会教育委員の会運営規則</li> </ul>
<p>公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 公開      2 一部公開      3 非公開      (傍聴者 0 人)</p>
<p>その他 (非公開理由等)</p>	